

由良地区における景観づくり

平成 31 年 3 月 6 日

近畿地方整備局
福知山河川国道事務所

1. 前回検討会の概要
2. 由良地区の歴史 — 北前船と由良石 —
3. 由良地区の河川利用
4. 由良地区の現況景観特性
5. 由良地区及び周辺の景観関連計画
6. 内水対策について
7. 自治体・住民のヒアリング結果
8. 整備場所のイメージ例
9. 景観整備コンセプト(案)

1. 前回検討会の概要

第1回由良地区堤防景観検討会 概要

- 日 時：平成30年11月26日（月）
- 場 所：由良の里センター
- 議 事：由良地区堤防景観検討会の趣旨、規約の説明、座長の選出
由良川水系河川整備計画での由良地区について
由良地区の景観（歴史風景、特徴等）に関して

■主な意見

◆由良石・由良港・北前船（P3）

- ・由良港についていつ頃まで使われていたのか、あるいは現状残っている船着き場と港がどう対応しているのかを知りたい。
- ・由良石を堤防に活用するなど地域の素材を堤防に活用することで、地元らしい個性ある護岸ができる可能性がある。

◆景観検討箇所の利用状況（P4）

- ・景観検討箇所における大正～現在までの水辺の利活用方法について教えてほしい。

◆視点場整備のポイント（P5, 6, 7）

- ・鉄橋の景観は素晴らしいため、由良川橋梁周辺でも堤防内から鉄道橋を眺められる高い視点場を整備、堤防外には親水性の高い視点場を作る必要がある。

◆景観計画の策定状況等（P8）

- ・宮津市景観計画においてどういう観点を大切にしているのか等を教えて欲しい。また、対岸の舞鶴市の景観計画の策定状況について教えて欲しい。

◆その他（内水対策について）（P9）

- ・堤防が整備されると内水の問題が発生するため、対応を行う必要がある。

2. 由良地区の歴史 — 北前船と由良石 —

① 北前船について

平成30年5月、宮津市が文化庁の日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落」に追加認定された。

由良の北前船資料館には、北前船の模型や安全祈願で航海前に神社に奉納された絵馬等がある。

北前船で由良湊に到着したのち、荷を積みかえ、小舟で上流の綾部まで、さらには馬車で京都まで運んだとされる。



北前船の模型
(北前船資料館)



北前船の奉納絵馬
(北前船資料館)

② 由良石について

10年程前は由良地区で採掘されていたが、現在は採掘できない。由良石は、由良地区の各家庭にあり、由良の人々にとって身近なものである。



由良石の石堀
(旧由良小学校)



由良石の鳥居
(由良神社)

3. 由良地区の河川利用

① 漁業について

現在、漁業は盛んに行われていない。

② レジャーについて

現在、ウィンドサーフィン、パラセーリング、水上バイク、パラグライダー、モーターパラグライダー、魚釣りは行われている。

昭和62年にウィンドサーフィンが行われていたことは当時撮影した写真から確認した。

③ 日常利用について

近隣住民が散歩コースで利用されている。

④ 船着き場利用について

船着き場に係留されている漁船は、漁業組合員が魚釣りで使用されている。

【 ①～④出典：由良地区住民ヒアリング（平成30年12月6日実施） 】



② KTR橋梁の上流側で楽しむ
ウィンドサーフィン

（出典：写真集 丹後由良）



③ 川岸を散歩されている近隣住民



④ 船着き場の漁船

4. 由良地区の景観特性

1. 景観特性図(主な施設配置・通行動線)

各観光拠点と整備箇所を結び、由良地区全体の回遊性を向上させる



4. 由良地区の景観特性

2. 主な景観構成要素



① KTR橋梁と対岸の槇山



② 稲荷大明神と松並木



③ 住宅



④ 船着き場



⑤ 国道178号と田畑



⑥ 丹後天橋立大江山国定公園内
丹後由良海岸

4. 由良地区の景観特性

3. 主要視点場



③ 住宅前から河口、槇山、KTR橋梁を一望する視点



① KTR車窓から河口を望む視点



② 稲荷大明神から対岸を望む視点



©NTT空間情報, DigitalGlobe Inc.



④ 国道178号走行車から計画地を望む視点

※対岸からは、細部デザインが確認できない。

5. 由良地区及び周辺の景観関連計画

① 宮津市景観関連計画

宮津市「宮津・天橋立景観計画」において、由良地区は、景観計画区域外となっているが、「宮津市景観まちづくりマスタープラン」において、【東部地域】栗田・由良地区は「地域別まちづくりの方向性」が定められている。

海辺の魅力に磨きをかける 景観まちづくり

例) ●周辺の自然景観と調和する景観の形成

- ・ 閑静な集落地景観の保全
- ・ K T R丹後由良駅南側に広がる里山景観の保全活用
- ・ 歴史的な建造物の保全活用
- ・ 里山の魅力や強度の香りを伝えるサイン整備

●海辺のまちの魅力を活かした景観の誘導

- ・ K T R丹後由良駅から海に向かう通りの桜並木を活かした街路景観形成
- ・ 海辺の美しさを引き立てる国道沿道における建物や看板類の沿道景観誘導

② 舞鶴市景観関連計画

舞鶴市において、景観計画は策定されていないが、「都市計画マスタープラン」において、舞鶴市加佐地域の整備目標が定められている。

由良川流域の自然豊かな地域資源を活かしたふるさとづくり

由良川流域に広がる豊かな自然環境、農地の保全を基本とし、農林業と調和のとれた土地利用に努めます。

- 平成30年7月豪雨による洪水を踏まえ、由良川沿川4市(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市)と京都府、気象台、福知山河川国道事務所による由良川減災対策協議会に「由良川大規模内水対策部会」を設置。
- 同部会ではハード対策や内水ハザードマップ、防災教育等のソフト対策等について、国・県・市が連携した効果的な内水対策の方針等を議論。

《由良川減災対策協議会の実績》

- H28.5 第1回協議会(協議会の立ち上げ)
- H28.7 第2回協議会(「由良川の実施方針」策定)
- H29.5 第3回協議会(実施方針のフォローアップ)
- H30.4 第4回協議会(フォローアップ、目標変更、
台風21号を踏まえた地域の取組項目を追加)
- H30.9 第1回由良川大規模内水対策部会(発足、課題共有)
- H31.1 第2回由良川大規模内水対策部会(取組進捗共有)

＜主な発言内容＞

- ・内水による浸水メカニズムの解析(福知山市、舞鶴市)
- ・避難行動タイムライン等の作成支援(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市)
- ・排水ポンプ車の追加配備や適切な運用・配置位置検討(福知山市・舞鶴市・綾部市・京都府・国交省)
- ・雨水排水ポンプ場の整備(綾部市)
- ・近年の豪雨や潮位を考慮した避難勧告等発令基準水位の見直し(宮津市)



第2回由良川大規模内水対策部会 (H31.1)

7. 自治体・住民のヒアリング結果

① 北前船・由良石の歴史について

- 北前船や由良石の歴史を護岸の一部にデザインとして取り込み、説明サインを設置したい。
- 由良石でできた石垣（護岸）は、稻荷神社脇の小さな松が植えられている辺りの川側にあった。現在は確認できないが、昔の形状のまま埋まっているのではないか。
- 各家庭にある由良石を持ち寄り、地元の思いをのせてイベントとしてモニュメント等を作成することも考えられる。

② 地元住民の現在の河川敷利用について

- KTR橋梁～河口～海岸は地元の人たちの散歩コースとなっているため、整備後も利用したい。
- 昔の石垣（護岸）のスロープのイメージがある。

③ 船着き場利用について

- 船着き場は、整備後も必要である。

④ その他（観光客誘致について）

- 由良地区は、ハクレイ酒造や安寿足湯等観光振興の芽が小さなエリアにたくさんある。これらに護岸整備エリアを加え、由良地区の観光ネットワークを形成していきたい。そうすることによって、観光客の滞在時間を延ばすことも考えられる。護岸整備と一緒に由良地区全体が活性化しよう頑張りたい。

① K T R の車窓からの視点場。高さ3.0m程度の特殊堤防設置（例）



②住宅前から対岸を望む視点場。高さ1.5m程度の土堤設置（例）



- ◆ 由良湊の記憶を紡ぐ — 北前船と由良石 —
- ◆ 近隣住民に親しまれる堤防
- ◆ 地域連携で“にぎわい”を創出

◆ 由良湊の記憶を紡ぐ — 北前船と由良石 —

「由良の歴史」を周辺景観に融合させる「地」としての整備※を行いつつ、表現する

※「地」としての整備・・・河口や遠景の山岳を背景とした堤防の見え方に配慮し、「宮津市景観まちづくりマスタープラン」に則った周辺の自然景観と調和した景観を形成する

船着場の設置事例



緊急用船着場

出典

国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所HP



出津防災船着場

出典

国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所HP



横利根閘門ふれあい公園船着場

出典

国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所HP

◆ 近隣住民に親しまれる堤防

築堤計画地は、近隣住民が河川景観を楽しみながら歩く散歩コースとなっていることから、日常的に人が安全かつ快適に利用できる空間を形成する



横断機能と防災機能の融合した階段護岸の事例
(例：美々津護岸[日向市美々津町])

(出典：八千代エンジニアリング(株)撮影)



土提整備と自然保全、利用を両立した河川空間の事例
(例：阿武隈川[福島市])

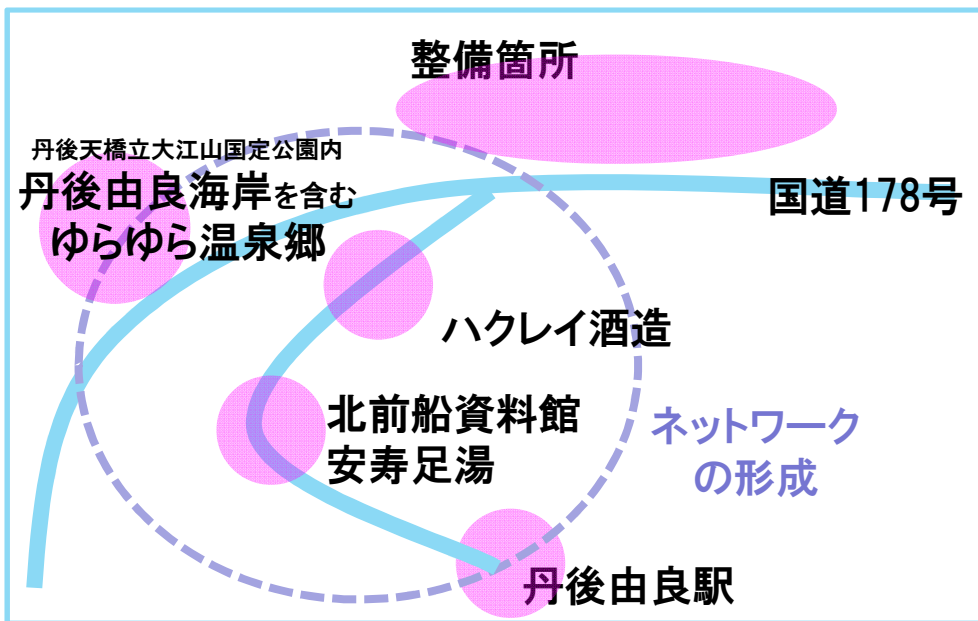
(出典：プランニングネットワークHP)

9. 景観整備コンセプト(案)
地域連携で“にぎわい”を創出

◆地域連携で“にぎわい”を創出

魅力ある護岸整備を行うことにより、美しい由良の河口景観をのぞむ視点場を確保し、由良地区全体の回遊性を向上させる観光ネットワークの一躍を担う

各観光拠点と整備箇所を結び、由良地区全体の回遊性を向上させる



拠点施設間のネットワーク図
(p. 5 参照)



親水空間の賑わい例 (河川敷の散歩等利用)
(例：荒川[赤羽岩淵周辺／荒川・隅田川分岐部])

(出典：八千代エンジニアリング(株)撮影)